



TITLE:

履修生「実践プロジェクト」題目一覧(第一期生-第四期生)

AUTHOR(S):

CITATION:

履修生「実践プロジェクト」題目一覧(第一期生-第四期生). 安寧の都市
--医学・工学からのアプローチ (Liveable Cities) 2015: 212-213

ISSUE DATE:

2015-01-24

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/193490>

RIGHT:

履修生「実践プロジェクト」 題目一覧（第一期生～第四期生）

年度	氏名	論文題目
2010	今井久人	歩行を視座にした安寧の都市の一考察——守山市をモデルとした楽しく歩くための諸条件
	内田実保	奈良県における川辺のまちづくりをモデルとした政策形成プロセスの検討
	大田明生	救急隊員の安寧に向けた職務ストレスに関する研究——俺たちは限界だ！
	奥井貴子	結核対策における多文化対応——滋賀県の場合 【安寧賞2011】
	梯 優次	守山市における公共交通について
	川路修祐	河川空間を活かしたアメニティ構築にむけた住民合意形成手法
	木村隆之	都市内地縁型コミュニティの再生は可能か——活性化手法としての「寄り合い茶屋」構想の検討
	竹林 哲	守山市の中心市街地活性化について——「安寧の都市」の実現に向けて
	西村之宏	都市の集約化に資するアメニティ豊かな「安寧の都市」実現のための政策評価
	花野弘行	守山市における街なか健康づくり環境の創出を核とした総合的まちづくりの提案
	濱田雄一郎	大規模災害時の派遣職員受入れ体制の構築 ——大阪府の東日本大震災及び2004年新潟県中越地震の派遣事例より
	平松弘三	安寧の都市実現に向けた地域コミュニティ育成と自治会活動の役割
	古橋勝也	ウツタインテータからみた救急搬送の現状と課題 【安寧賞2011】
2011	安本理抄	守山市におけるスムーズな地域医療連携のあり方に関する一考察
	伊藤彰夫	自治会活動調査による地域コミュニティの現状と課題——安寧の都市を求めて
	上門 充	大規模災害時における域内搬送の再構築——京都第一赤十字病院の事例から
	白村康雄	地域住民組織の現状とこれからの役割——持続可能な地域社会を目指して
	川崎章浩	自主グループ活動を事例としたコミュニティの拡がりに関する研究 ——守山市山賀町の百歳体操教室の事例
	瀧口康司	災害時における情報伝達手段の提案——絶望期からの早期脱出に向けて 【安寧賞2012】
	谷口幸治	「安寧の都市」における「都市アメニティ」と「クライシスマネジメント」の調和 ——大都市河川である鴨川を事例に
	近本吉久	守山市における地域交通の一考察
	樋口博紀	高齢社会を支える安寧の構造——京都・水尾集落を事例に
	弓岡寛史	向日市水道災害対策マニュアルの実行性の検証
	米澤慶子	循環器科外来患者における医薬品と健康食品に関する実態調査 ——相互作用による健康被害低減に向けて
	渡辺健司	ソーシャルビジネス「里山業」についての考察
2012	五十嵐敏郎	人が車から受けるストレスの新たな定量評価法の検討
	池野泰弘	地域活動における住民意識の一考察——守山市浮気町の場合
	板倉聖起	住民要望に基づく行政サービスに対する地域住民と行政の事業評価
	逢坂剛史	過疎地域の子育て支援における共助の仕組みについて ——京都市京北地域の「京北にこここ・わくわくネットワーク協議会」を事例として
	小河 聡	地域活動従事者の意識と活動実態並びに防災意識から見る地域活性化に関する考察
	金澤 豊	震災関連死を防ぐための要援護者の避難所生活援助に関する地域自治会リーダーの意識調査 ——トイレ問題を中心として

2012	兼村星志	京都市の街路樹において期待される機能及び樹種選定について
	上出 聡	昼夜の避難行動の違いと避難支援のあり方に着目した地域住民組織の再考
	喜多和彦	脳波パターンに見る消防職員の警報音に対する「緊張と集中」
	北岡 愛	京都らしさ評価による歴史都市京都の細街路分類と対策の一考察 【安寧賞2013】
	久保 哲	不安と脳活動傾向の個人特性——音刺激がウェアラブル脳波計に表出する客観的事実について
	勝 清文	世代間の意識の違いによる地域活動の役割——自分たちのまちという自覚
	堂崎浩平	過疎地における居住地集約に関する一考察——奈良県黒滝村を事例に
	富岡祥平	まるごとまちごとハザードマップの拡充及びAR技術を活用した防災教育ツールに関する社会実験について
	内貴大輔	旧五條楽園の景観保全と活性化——地域内外の意識の違いと景観要素に着目して
	早崎真魚	沿道住民の利用実態から見た道路空間の再評価——京都市における安寧の道実現に向けて
	平尾 陽	「安寧距離」の提案——住みたいまちの要素と住む場所との心地よい距離感
	藤井 佑	大都市駅前道路のペDESTリアナイゼーションに関するプロジェクトレポート——大阪市北区茶屋町地区を事例に
2013	藤田有紀	過疎集落における地元商店が安寧な地域社会の構築に果たす役割——京都市京北黒田地区「(有)おーらい黒田屋」を事例に
	三浦浩史	南海トラフ地震の津波から西成区の要援護者を一人でも多く守れるか？
	矢部義雄	交流分析を用いたコミュニケーションの新たな検討——住民と行政の間の事例考察
	尾野伸一	都市防災活動における地域コミュニティの有益性——河南町消防団を対象として
	小野 晋太郎	路上パフォーマンスを保证する場所的特性についての考察
	木村佳英	高齢者の理解・記憶能力に配慮した情報提供手段の提案
	小菅謙次	ニュータウンにおける高齢者の社会的孤立リスクの構造分析——京田辺市を事例として
	小西 圭	緑茶の飲み方および場の違いが周囲に居る人に及ぼす影響について
	桜井 誠	「逃げる！」水害から命を守るための一考察——南山城水害から60年の経験に学ぶ
	佐々木礼子	武庫川づくりの実践に基づく住民の参画と協働による安寧の治水に向けた取組
	杉原卓治	瞑想法による不安低減効果に関する研究
	高山恵梨子	町丁別統計を用いたニュータウンの問題構造の可視化——泉北ニュータウンを対象として
	田中康仁	警報音と守る 安心な街についての考察——自ら行動できるために
	辻井昌徳	新型インフルエンザ・パンデミックに対する開業医の意識調査
	富田雅美	「懐かしさ」と住む家——「懐かしさ」という今と同居する
	永井 より子	歩行環境と睡眠の質に関する研究 【安寧賞2014】
	中野智子	被災経験の有無が住民の災害時対応行動に及ぼす影響について
	林 達朗	若者の安寧空間——若者の視点からの都市空間づくりの一考察
	藤尾 潔	無人集落が消滅集落へ至る過程に関する考察——滋賀県多賀町保月集落の事例から
	前田 修	東南海・南海地震時の拠点病院における電力確保の方策
	吉田 純	生活道路における路上活動と自動車交通の関係に関する考察——京都市の歴史的街区内の道路空間の役割について
	吉川 直	敗血症性脳症における感覚機能異常の分子機構解明にむけた研究